

5日目 4月29日

会 場: 松江市営野球場

第2試合	～3回戦～																			
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E		
益田東	0	0	0	0	0	2	0	0	0							2	6	1		
出雲西	1	0	0	2	0	0	0	0	X							3	7	2		
(投手-捕手)																				
・ (益)	奥永→糸井 - 永井																			
・ (出)	桐原 - 犬飼																			
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)							
・ (益)	前田、藤井																			
・ (出)																				
(審判) [球審]	大畑				〔一塁〕 瀧隆				〔二塁〕 嘉藤				〔三塁〕 杉原							
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨
(益)	35	6	2	2	0	0	3	2	1	2		0			1	1	0	0	0	0
(出)	29	7	3	0	0	0	4	0	0	0		1			2	1	0	0	0	0

「出雲西、桐原が益田東打線を封じる！」

出雲西が1・4回裏に得点して優位に立つと、桐原の好投で逃げ切った試合だった。

出雲西は1回裏、1番中島が安打で出塁すると、2番月森がヒットエンドランを決め無死1・3塁とし、3番坂根の併殺打の間に3塁走者が生還し効率的な攻撃で先制点を挙げる。出雲西は1・2回の複数走者を背負うが無失点で切り抜けると、4回裏に安打と失策で無死2・3塁とし、4番犬飼のライト前に落ちる適時打で1点を追加する。1死1・3塁から6番吉野がスクイズのサインを見落とし、好機を逃したかに見えたが、直後にレフトへの適時打を放ち1点を加えた。更に暴投で2死2塁とし、7番熊高がライトへ鋭い打球を放つも、相手右翼手の藤井が飛び込んで捕球する好捕で、益田東もこれ以上の追加点を許さない。

すると、益田東は6回表、3番森田、4番藤井の連打で無死2・3塁とし、5番藤田がスクイズを決め1点を返すと、6番永井がライトへの適時打を放ち1点差に詰め寄る。しかし、出雲西先発の桐原が力を振り絞り7回以降、益田東に走者を1人も許さない力投を見せ、出雲西が準々決勝へ進出を決めた。桐原は左打者の胸元に厳しい直球を最後まで良く投げきれていた点が強力な益田東打線を抑えた要因であった。

